

## ◆2020年12月10日着信

最近、障がい者の青年たちが、少しずつ、この家を存続させなければいけないとの意識に目覚めてか、率先してクリスマスの寄付願を数か所の会社向けに書き、しかも自分たちでそれぞれの会社に届けるなど、これまでにこんな動きは見たことがなくびっくりしている私です。

また、来年からはお金の継続した寄付が得られるようにと手紙の内容を考え、100か所の寄付を集めるのだといういろいろ考えているようです。頼もしい次第です。

若い子たちには新しいことに挑戦するパワーがあります。ただ長続きするようフォローが必要ですがね。このことの成功をお祈りください。

## ◆2021年1月10日着信

遅くなりました。あけましておめでとうございます。  
エルピス会を通して2020年はいつもよりたくさんの寄付をいただいて心から感謝しています。

2019年のクリスマスほとんど何もない1日でとても悲しい1日だったので、2020年は以前のように楽しいクリスマスにしようと職員も張り切って踊りや歌、ビンゴゲームでの賞品に大喜び。うちの職員がバーベキュー台を作り（材料費は職員たちが出し合って）カペディスにクリスマスプレゼントとして贈られ、それを使って昼食はバーベキューが盛り上がった1日でした。そして前のようにたくさんのプレゼントにみんな大満足。

さて2021年が始まりました。今年また新たに施設長を任命しました。ソニアさん。彼女は約7年間カペディスで働いてくれている看護師ですが、彼女の誠実さ、物惜しみしない働き者で、うちの障がい者たちからの推薦で彼女に1年間でいいからとお願いしました。はじめはそんな大役はと断っていましたが、みんなで協力するからと説得してOKをしてもらいました。思ったように良くみんなとやってくれています。

多くの問題の原因でもあった事務員さんには2020年いっぱいでもやめてもらいました。（退職金にたくさんのお金がかかりましたが）

今年は運転手と2人の看護師、助手を正式に雇って、会計はうちの障がい者のビルマさん（2020年公認会計士の免許を取得した）が自分の仕事の合間にカペディスの会計も引き受けてくれるということいろいろな問題を何とか乗り越えれそうです。ただ給料の出費が増えますが。

## ◆2021年1月25日着信

さて、恐れていた土石流が、今年ももう2度（17、18日）やってきました。ただ2年間の嫌な経験をした私たちは2020年に何度も道路封鎖をして、市長に川底を深く掘り下げることを要求してきましたので、私たちの側の川は土砂が半分くらいまで上がることで済んだのですが、川の整備を怠った下流が氾濫し死者も出てしまいました。ただ、昨年少し大きく作ったばかりの家のすぐそばの橋の側面が土石流に押し流され今急ピッチで補強作業しています。ずさんな作業をみんなで抗議しています。橋が倒れなかったのは幸いです。ただまだ2月いっぱい雨が続きますので油断は許されません。



被害を受けた橋を補強する様子

床でじかに食事を盛っている写真は、昼少し前、近所で警察やたくさんの人たちが「土石流！！」と叫んでいる中、あわてて2階に子供たちを避難させ、そのあと鍋や皿をもって上がった後に、早く早くとせかせせながらよそっているところ。机やイスなど運ぶ暇などありませんでした。3年目の避難で、みんなもだいぶ早く避難してくれました。



次に私たちの家にもコロナの第2波が蔓延しています。1月21日に今度もホスエが39.5度の熱を出し検査してみたところ、陽性。

次の日に全員（職員、利用者25人）検査した結果、20人が陽性でした。残る5人もすぐに感染するでしょう。この検査代約1000ドルも吹っ飛びました。ああー！！



何があっても素敵なお笑顔があれば・・・♪

ローナルは陰性で安心しました。

幸い前回同様、まだ誰もひどい症状は出ていませんが油断はできません。また今回はコロナ陽性であっても職員に休みを上げられません。なぜならそれをすれば子供の世話をする人がいなくなるからです。

無農薬野菜、レモンやはちみつ。しょうが、毎日薬草を焚いてその湯気の蔓延する部屋でお祈り。などでこの第2の試練を乗り越えるしかないです。

日本も大変な寒さに襲われているようです。皆さん体に気を付けられますように。お互いですね。写真を今撮っています。あとでおくります。野原

## ◆2021年2月21日着信

15日から本当に久しぶりに（約1年ぶり）に畑に住み込んでいます。コロナの状況によって変わりますが、今のところ日曜だけ職員の送り迎えのために帰ってくるようになります。

畑も1年間野菜売りのためだけしか行ってなかったのも、何をしていたのかと思えるほどの荒れ放題。しなければいけないことだらけ。といっても私がではなく指示してさせなければ。

カペディスにいれば畑に問題あり。1週間ぶりにカペディスについたらみんなが大喜びで迎えてくれました。体が2つないのが残念なこと。

うちのコロナのほう検査結果を疑いたくなるように、みんな何事もなく1か月が過ぎようとしています。健康的な食事と、部屋を閉め切ってユーカリの葉を焚いてその蒸気で室内の洗浄をしたり、毎日欠かさず祈ったりして、神様からの強い保護で守られていると体験させられます。もちろん皆様方からの強いお祈りのおかげでもあります。ありがとうございます。

こちらも1つうれしいニュース。

今年久しぶりにうちの4人（ホスエ、ロスメリー、ホセ、パオラ）が障がい者の学校に行くことになり明日22日にまず心理学検査をします。この4人大喜びです。

ただまだ通常の通学でなくインターネットでの授業だとのこと。

それでは。SHOKO